

## Rita & Rudolf Trossen

### リタ・ウント・ルドルフ・トロッセン

地域: Mosel

オーナー: Rita Trossen、Rudolf Trossen

リタ・トロッセン、ルドルフ・トロッセン

地区、村: Kinheim-Kindel キンハイム・キンデル

醸造・栽培責任者: Rita Trossen、Rudolf Trossen

リタ・トロッセン、ルドルフ・トロッセン

HomePage : <http://trossenwein.de/>



#### 出会い:

Angers の作り手で、合田の友人である Cyril le Moing の家に陳列してあった瓶を見て訪問したことがきっかけです。

創業年: 1967 年

#### 歴史:

醸造所のある Kinheim-Kindel(キンハイム・キンデル)村は、モーゼル中流域で古くからワイン造りが行われていた場所です。ローマ人やケルト人が、この地のブドウ栽培に適した気候を利用し、ブドウ畑を開墾しました。それは、かつてキンハイム・キンデルの周辺にローマ人が築いた 5 つの集落の一つの遺跡から、ブドウ農民と樽職人の守り神である Sucellus(ズツェルス)の石像が出土していることから伺えます。

トロッセン家は代々キンハイム・キンデルで農家として、畑を耕し家畜を飼い、ブドウ栽培を行ってきました。リタ・ウント・ルドルフ・トロッセン醸造所は 1967 年創業。1978 年からはバイオダイナミを取り入れたワイン造りを始めました。2010 年から、亜硫酸塩無添加のナチュラルワイン「プールス」シリーズを醸造しています。

#### ドメーヌ解説:

モーゼルで有機農法によるブドウ栽培をはじめた先駆者のひとりです。「自然の力によって良いワインは作られる。だから自然を支援する努力を惜しまない」をモットーにしています。機械や科学技術の利用を出来るだけ抑え、化学合成肥料や農薬を使わず、シュタイナーの人智学に基づくプレパレートを使っています。それによってワインの味わいには、各畑の個性と共に、その年の気候や品種の持ち味も、より明確に表現されると考えています。

リタ・ウント・ルドルフ・トロッセン醸造所のワインは、デンマークの NOMA(ノーマ) のソムリエ RENÉ REDZEPI(ルネ・レゼッピ)が、ペアリングに好んで使うワインとして知られています。リタ・ウント・ルドルフ・トロッセンのワインに共通して言える事は、自然体でありつつフォーカスが定まっていることです。モーゼルのリースリング特有の、花のような香り、ミネラルのニュアンスに、アフターは伸びやかで繊細。「プールス」シリーズでは、正真正銘ブドウ果汁のみの無添加で醸造されるため、ルドルフが手塩にかけて栽培したブドウの品質の高さと、赤子を見守るようにして醸造したというワインのポテンシャルの高さが、一口ごとにストレートに伝わってきます。

ちなみに各ボトルのラベルは、デュッセルドルフに住む親しいグラフィックデザイナーに依頼しており、それぞれのワインを飲んでみて湧いてくるイメージに基づいてデザインされています。

## 畑について

土壌：灰色及び青色スレート粘板岩(シーファー)

自社ブドウ畑面積：約 2ha

自社栽培ブドウ品種：リースリング、ドルンフェルダー、シュペートブルグンダー

## 醸造について

収穫は全て手作業で行われ、リースリングは除梗せずにそのままプレスされます。総SO<sub>2</sub>量はノーマルで30～50mg/l、「プールス」シリーズは20mg/l以下。

酵母のタイプ：野生酵母により、じっくりと時間をかけて発酵し、澱の上で数カ月熟成。

醗酵容器の素材と容量（L）：ステンレスタンクとフーダーです。それぞれで発酵・熟成した後、必要に応じてブレンドしています。

年間生産ボトル本数：13000～18000 本

加盟醸造所団体：ECOVIN

(エコヴィンはドイツ最大のビオワイン醸造所団体で、トロツェンは創設メンバーの一人)